

..... 編集後記

◆ アスベスト問題の波紋が大きく広がっています。除去処理が進んだはずと思っていましたが、各地の校舎・体育館・駅などの公共の施設で、吹き付けられたアスベストの露出が見つかっています。アスベストは微粉の飛散を防ぐことが肝心。的確な調査・対策により、これ以上被害が広がらないよう注意したいものです。

◆ さて、今月の地質ニュースは「希少金属資源」・「岩石の割れ目」・「火山調査」・「岩石顕微鏡」・「出版物等の紹介」など多彩な内容となりました。

◆ まず、石原特別顧問が「インジウムと火山堆積性塊状硫化物鉱床」と題して、インジウムの用途、元素としての性質、そしてポルトガルのインジウム鉱山の様子までを表紙・口絵写真と共に、解説してくださっています。最近、液晶のパソコンやテレビがすっかり身近になりましたが、その製造技術の中核であるITO ターゲットや液晶板の製造技術は、日本が激しい競争の中で世界の先端を競っています。私達の生活と技術の最先端まで感じていただける解説です。

◆ 次に茂野・佐々木氏が「フラクチャーとフラクタルの関係？」と題して、岩石中の微細な割れ目から地震断層まで、割れ目とその発達過程などについて理論的に解説してくださいました。インドネシア・スマトラ沖地震で動いた断層の長さは1,200km余と言われていますが、まだまだ謎だらけのようです。

◆ 須藤氏は「フィリピン火山地震研究所2005年へリ

コプター事故」の報告をされました。観測に伴う事故、雲仙普賢岳の火砕流の事故を思い出しました。こういった苦い経験を将来の火山災害の観測や防災に活用したいものです。

◆ 高橋・三宅氏による「偏光顕微鏡活用例」、最近偏光顕微鏡があまり使われないようですが、偏光顕微鏡は大変有用な研究機器、鉱物学を目指す若い方には是非読んでいただきたい貴重な資料です。

◆ 佐竹・七山氏には「数値地質図EQ-1北海道太平洋岸の津波浸水履歴図」の解説をしていただくとともに、北海道や民間企業との連携の経験もお話いただきました。

◆ 宮越・丸井氏には全国井戸・水文データベース「いどじびき」の改定と適用さらに新しい使い方についても解説していただきました。

◆ 中野氏他の皆様には5万分の1地質図「水口」、吉川氏他の皆様には5万分の1地質図「生野」の地質解説、さらに地域の話題・巡検適地の紹介をしていただきました。地質図を持って出かけてみて下さい。

◆ 標本館からは3月に行われた化石のレプリカ作りの様子を紹介していただきました。

◆ いよいよ夏本番、帰省や海外旅行と楽しい計画をお持ちのことと思います。お出かけになったら、足元の地層や砂にも注意を、ハワイだけでもいろんな砂が見られますよ(口絵参照)。くれぐれも事故にあわないようお気をつけ下さい。(須藤定久)

地質ニュース編集委員会

委員長：須藤定久

副委員長：吉田朋弘

委員：高木哲一・丸山 正・高橋裕平・

光畑裕司・七山 太

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754

Fax. 029-861-3746

地質ニュース

第612号 2005年 8月号

定価 ¥785 (本体価格 ¥748) 千実費

2005年8月1日 発行

編集

発行人

発行所

産業技術総合研究所

株式会社 実業公報社

代表者 林 光生

株式会社 実業公報社

東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073

Tel.(03)3265-0951 Fax.(03)3265-0952

http://www.jitsugyo-koho.co.jp

E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp

振替口座 00110-6-32466

麹町局私書箱第21号

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

© 2005 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。